

ものづくり・デザイン・アート

コーディネーター：一般社団法人 箱根物産連合会

取組の背景

小田原には厚く蓄積された歴史・文化、多彩な地域資源、立地や交通条件などの恵まれた環境などがあることから、すぐれた伝統工芸品が作られてきました。しかしながら、モノがあふれる時代となり、これまでと同じことをしてはモノが売れなくなる時代に入りました。

活動の狙い

小田原の地域資源を存分に生かしつつ、これまで結びつきの難しかったものづくり産業（伝統工芸）とデザイン・アートとが交流を進めることで、新しい創造を生み出し、小田原製品のブランド力を向上させ、地域経済を活性化させることを目的としています。

実施内容

ものづくり産業とアーティストとが交流を促進し、コラボ展示を開催します。また、小田原のものづくりについて多くの人に知ってもらうため、製作体験教室を実施します。



平成25年9月 第8回小田原もあ展

ー三次元の蠶は垣根を超えるVol.2ー(寄木ギャラリーツユキ)

活動の成果

当初の展示会は、それぞれが作っているものを一緒に展示するというものでしたが、小田原のものづくり産業のなかでの交流、ものづくり産業とアーティストとの間での交流を進めることで、これまでになかった新しい作品にチャレンジしたり、コラボ作品を製作したりするようになりました。また、夏休みには大人から子どもまでを対象とした製作体験教室を実施しましたが、これまでになかった新しい体験を実施し、体験メニュー数も増えました

今後の展望

メンバーそれぞれに各々の活動がありますが、ものづくり・デザイン・アートにおける活動については、新しいものを作り、製作の幅を広げていく挑戦の場となるよう、これからもメンバー間、アーティストとの交流を促進し、新しいことにチャレンジしていきたいと思えます。

参考URL

<http://monodukuridezainart.blogspot.com/>





取組の経過

平成22年3月

ものづくりデザインアート始動

第1回プロジェクト会合にて、次代を担う作家や美術館と、ものづくり産業との交流がスタートしました。

平成22年11月

第1回小田原もあ展開催

小田原もあ～こつこつクリエイイト～として、第1回小田原もあ展を開催しました。メンバーの各工房・ギャラリーで展示会(仕事場探検)を開催するとともに、小田原駅の「小田原の物産展示コーナー」で特別展を開催しました。

平成23年6月～平成23年11月

“ためしに垣根を越えてみる”小田原もあ展開催

銀座商店街のギャラリー、空き店舗、店先で、現代アートと伝統工芸品とを同空間で展示する展示会、製作体験教室、端材を使った市民参加型アートの製作を行ったり、小田原城ミュージゼで西湘地区アーティストインレジデンスと併催して、世界中のアーティストの制作風景と伝統工芸とを同時に披露、製作体験を行ったりしました。

平成24年3月～

活発な活動の継続

平成24年3月から開始した小田原城ミュージゼの常設展示では、作品の展示とともに、毎回テーマを決めて、自分たちのものづくりを知ってもらうための紹介パネルなどを作成し、年2回展示の入替を行いました。

また、毎年8月には小田原城ミュージゼで製作体験教室「夏休み小田原ものづくり体験ウイーク」を、秋には、その年ごとに会場を変えて(すどう美術館、寄木ギャラリーツユキ)、アートとのコラボ展示「三次元の蟻は垣根を超える」を開催しました。回を重ねる毎に、体験教室はメニューのバラエティも参加者も増えています。またアートとのコラボ展示は参加者間の交流を促進し、作品製作のコラボへと深化しています。



平成26年8月 第9回小田原もあ展



平成24年10月 第6回小田原もあ展
—三次元の蟻は垣根をこえる—(すどう美術館)



常設展示(小田原城ミュージゼ)